

科目名	キャリア教育(1)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	白石健二
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	身構え・気構え・心構えを持ち、社会人基礎力としてのホスピタリティ精神を学ぶ。						
到達目標	1年間のキャリア教育を通じ人からの信頼をもとに仕事を勝ち取れる人間力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	サポートアンケート・スケジュール確認	レポート作成
2	4月29日	講義・演習	学生便覧 ・ITリテラシー	レポート作成
3	5月6日	講義・演習	ア一写のルール・健康診断結果	レポート作成
4	5月13日	講義・演習	生活レポート ・新歓レポート回収	レポート作成
5	5月20日	講義・演習	ア一写撮影	レポート作成
6	6月3日	講義・演習	現場での注意事項	レポート作成
7	6月10日	講義・演習	学園祭レポート作成	レポート作成
8	6月17日	講義・演習	著作権に関する説明	レポート作成
9	6月24日	講義・演習	作品をつくるにあたっての注意事項	レポート作成
10	7月1日	講義・演習	舞台準備物等の説明	レポート作成
11	7月8日	講義・演習	夏休みの過ごし方について	レポート作成
12	7月15日	講義・演習	新人発掘の確認	レポート作成
13	8月26日	講義・演習	イベント	打ち合わせ、準備、本番
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	9月23日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			日々自分の目標を確認し、実行する	
【使用教科書・教材・参考書】				
筆記用具・ノート				

科目名	キャリア教育(2)	必修 選択	必修	年次	1	担当教員	白石健二
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	身構え・気構え・心構えを持ち、社会人基礎力としてのホスピタリティ精神を学ぶ。						
到達目標	1年間のキャリア教育を通じ人からの信頼をもとに仕事を勝ち取れる人間力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	ビジョンと目的目標の再確認	レポート作成
2	10月14日	講義・演習	生活レポートの記入	レポート作成
3	10月21日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて	レポート作成
4	10月28日	講義・演習	面接の対応の仕方	レポート作成
5	11月11日	講義・演習	海外のエンターテイメントを学ぶ	レポート作成
6	11月18日	講義・演習	SNS等の使用の仕方を学ぶ	レポート作成
7	11月25日	講義・演習	ビジョンと目的目標の再確認	レポート作成
8	12月2日	講義・演習	ダンサーの仕組みについて学ぶ	レポート作成
9	12月9日	講義・演習	将来設計について学ぶ	レポート作成
10	12月16日	講義・演習	冬休みの過ごし方・2年生への準備について・アクティビティ	レポート作成
11	1月6日	講義・演習	イベントに関しての決め事	レポート作成
12	1月13日	講義・演習	イベントに関しての注意事項	レポート作成
13	1月20日	講義・演習	イベントに関しての心構え	打ち合わせ、準備、本番
14	1月27日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			日々自分の目標を確認し、実行する	
【使用教科書・教材・参考書】				
筆記用具・ノート				

科目名	キャリア教育(3)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	白石健二
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	身構え・気構え・心構えを持ち、社会人基礎力としてのホスピタリティ精神を学ぶ。						
到達目標	1年間のキャリア教育を通じ人からの信頼をもとに仕事を勝ち取れる人間力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月22日	講義・演習	サポートアンケート・スケジュール確認	レポート作成
2	4月29日	講義・演習	学生便覧 ・ITリテラシー	レポート作成
3	5月6日	講義・演習	ア一写のルール・健康診断結果	レポート作成
4	5月13日	講義・演習	生活レポート ・新歓レポート回収	レポート作成
5	5月20日	講義・演習	ア一写撮影	レポート作成
6	6月3日	講義・演習	現場での注意事項	レポート作成
7	6月10日	講義・演習	学園祭レポート作成	レポート作成
8	6月17日	講義・演習	著作権に関する説明	レポート作成
9	6月24日	講義・演習	作品をつくるにあたっての注意事項	レポート作成
10	7月1日	講義・演習	舞台準備物等の説明	レポート作成
11	7月8日	講義・演習	夏休みの過ごし方について	レポート作成
12	7月15日	講義・演習	新人発掘の確認	レポート作成
13	8月26日	講義・演習	イベント	打ち合わせ、準備、本番
14	9月9日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	9月23日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			日々自分の目標を確認し、実行する	
【使用教科書・教材・参考書】				
筆記用具・ノート				

科目名	キャリア教育(4)	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	白石健二
学科・コース	ダンス&アクターズ科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	身構え・気構え・心構えを持ち、社会人基礎力としてのホスピタリティ精神を学ぶ。						
到達目標	1年間のキャリア教育を通じ人からの信頼をもとに仕事を勝ち取れる人間力を身につける。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月7日	講義・演習	ビジョンと目的目標の再確認	レポート作成
2	10月14日	講義・演習	生活レポートの記入	レポート作成
3	10月21日	講義・演習	新人発掘プレゼンテーションについて	レポート作成
4	10月28日	講義・演習	面接の対応の仕方	レポート作成
5	11月11日	講義・演習	海外のエンターテイメントを学ぶ	レポート作成
6	11月18日	講義・演習	SNS等の使用の仕方を学ぶ	レポート作成
7	11月25日	講義・演習	ビジョンと目的目標の再確認	レポート作成
8	12月2日	講義・演習	ダンサーの仕組みについて学ぶ	レポート作成
9	12月9日	講義・演習	将来設計について学ぶ	レポート作成
10	12月16日	講義・演習	冬休みの過ごし方・2年生への準備について・アクティビティ	レポート作成
11	1月6日	講義・演習	イベントに関しての決め事	レポート作成
12	1月13日	講義・演習	イベントに関しての注意事項	レポート作成
13	1月20日	講義・演習	イベントに関しての心構え	打ち合わせ、準備、本番
14	1月27日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
15	2月17日	講義・演習	イベント実践を通してダンスを学ぶ	レポートの提出
準備学習 時間外学習			日々自分の目標を確認し、実行する	
【使用教科書・教材・参考書】				
筆記用具・ノート				

科目名	MusicTheory(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田村野安
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、業界で共通の認識とされている楽譜の基礎知識が必要となる。本講義では、音楽理論といわれるそれらの内容について基礎から学び、卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。						
到達目標	音楽業界で飛びかう用語や楽譜の基礎知識を理解できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	楽譜の歴史、五線譜、クレフ	五線譜の各部名称とクレフ、音名を復習する
2	4月28日	講義・演習	音名	五線に書かれた音符の音名と鍵盤の位置が一致出来るように復習する
3	5月12日	講義・演習	音符、休符	音符、休符の表し方と連符を復習する
4	5月19日	講義・演習	拍子、複合拍子	小節線、単純拍子、複合・混合拍子、タイについて復習する
5	6月2日	講義・演習	反復記号	反復記号を学び、音源を聴き楽譜を追えるようにする
6	6月9日	講義・演習	スコアリーディング	1w～5wまでの復習をし理解度を高める
7	6月16日	講義・演習	中間テスト	1w～5wまでの復習をし理解度を高める
8	6月23日	講義・演習	メジャースケール	メジャースケールの仕組みを復習する(＃系メジャースケール)
9	6月30日	講義・演習	メジャースケール	5度圏を用い、調号を用いてスケールを書けるようにする(♭系メジャースケール)
10	7月7日	講義・演習	記譜法、臨時記号	調号と臨時記号の区別、臨時記号の効力を学び正しい楽譜が書けるようにする
11	7月14日	講義・演習	テンポ、強弱記号	速度記号、速度標語、強弱記号を復習する
12	7月21日	講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
13	8月25日	講義・演習	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
14	9月8日	講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
15	9月22日	講義・演習	テスト返却、復習	楽譜を見てKeyや雰囲気をつかむことができるようにする
準備学習 時間外学習			前回までの内容をワークを使って復習、次の内容に備える	
【使用教科書・教材・参考書】				
ゼロから始める音楽理論、「ゼロから始める音楽理論 ワークブック」 喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部				

科目名	MusicTheory(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田村野安
学科・コース	プロミュージシャン科(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、業界で共通の認識とされている楽譜の基礎知識が必要となる。本講義では、音楽理論といわれるそれらの内容について基礎から学び、卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようにする。						
到達目標	音楽業界で飛びかう用語や楽譜の基礎知識を理解できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	マイナースケール	マイナースケールの仕組みを理解し、調号を用いてナチュラルマイナースケールが書けるよう復習する
2	10月13日	講義・演習	マイナースケール	ハーモニックマイナー、メロディックマイナーの特徴を理解し、スケールが書けるよう復習する
3	10月20日	講義・演習	近親調	それぞれの調の関係性を理解し復習する
4	10月27日	講義・演習	移調	五線を用いて移調が出来るようになる
5	11月17日	講義・演習	奏法	省略記号、奏法記号、装飾記号を復習する
6	11月24日	講義・演習	スコアリーディング	1w~5wまでの復習をし、理解度を高める
7	12月1日	講義・演習	中間テスト	復習、テスト対策を行い中間テストに備える
8	12月8日	講義・演習	トライアド	コードの概念とトライアドの構造を理解し復習する
9	12月15日	講義・演習	7thコード	トライアドの知識を踏まえ、7thコードに発展させることが出来るようになる
10	12月22日	講義・演習	7thコードの復習とdim7	トライアド、7thコード、dimコードの構造を復習する
11	1月12日	講義・演習	その他のコード	add9、sus4、6thコードを復習する
12	1月19日	講義・演習	スコアリーディング	総復習をし、理解度を高める
13	1月26日	講義・演習	まとめ、期末予備テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
14	2月16日	講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
15	2月23日	講義・演習	テスト返却、総復習	復習
準備学習 時間外学習				
【使用教科書・教材・参考書】				
ゼロから始める音楽理論、「ゼロから始める音楽理論 ワークブック」 喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部				

科目名	Ear Training(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田村野安
学科・コース	プロミュージシャン科(屋間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、リズム感と音感が必要となる。本講義では聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き取り、実際に歌うなどしてソルフェージュの基礎を養う。卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようになる。						
到達目標	聴こえる音やリズムを正しく判別できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容					
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)	
1	4月23日	講義・演習	音の歴史、モールス信号、周波数、効果音について知る リズム打ち・書き取り方について知る 音の高低の判定	配布された授業プリントのリズム書き取りを正確に叩けるようにする	
2	4月30日	講義・演習	4分音符、4分休符のリズム打ち 3拍子と4拍子のビート感覚を養う 2線紙を使って音の高低判定 2度音程を歌い音程感を身に付ける	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する	
3	5月7日	講義・演習	8分音符のリズム打ちと5線紙を使ってリズムの書き取り 3線紙を使って音の高低判定	配布された授業プリントのリズム打ちや書き取りを復習する	
4	5月14日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符のリズム打ち、リズムの書き取り、5線紙を使ってメロディーの書き取り 音程(全音と半音の区別)	配布された授業プリントのリズム打ちやメロディー書き取り、音程を復習する	
5	5月21日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱 音程(1.2.3.8度、#トなし)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
6	5月28日	講義・演習	16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、休符の多いメロディーの書き取り 新曲視唱ができる 音程(1.2.3.8度、#トあり)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
7	6月4日	講義・演習	中間テスト	今までの内容を復習し次回の授業に備える	
8	6月18日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符のリズム打ち、リズム書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱 音程(4.5度#トなし)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
9	6月25日	講義・演習	8分休符(裏打ち)のリズム打ち、書き取り、メロディーの書き取り、新曲視唱 音程(1～5度8度、#トあり) トライトーン	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
10	7月2日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 音程(1～5度、8、6度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
11	7月9日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱 音程(1～8度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
12	7月16日	講義・演習	4分音符、4分休符、8分音符、16分音符、8分休符のリズム打ち・書き取り、メロディー書き取り、新曲視唱、Major/minorのコード判定、音程(1～8度)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
13	8月27日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱、音程を復習する	
14	9月10日	講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える	
15	9月24日	講義・演習	テスト返却、総復習	復習	
準備学習 時間外学習			前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える		
【使用教科書・教材・参考書】					
ゼロから始める音楽理論、「ゼロから始める音楽理論 ワークブック」 喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部					

科目名	Ear Training(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	田村野安
学科・コース	プロミュージシャン科(屋間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	音楽業界でステップアップしていく為には、リズム感と音感が必要となる。本講義では聴こえる音やリズムを正しく五線紙に書き取り、実際に歌うなどしてソルフェージュの基礎を養う。卒業後には業界人として何事にも自信を持って取り組めるようになる。						
到達目標	聴こえる音やリズムを正しく判別できるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月8日	講義・演習	ET I で習ったリズム打ち・書き取り、マイナーkeyの視唱、CMajorのメロディー書き取り、Major/Minorのコード聴き分け	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
2	10月15日	講義・演習	3連符のリズム打ち・書き取り、マイナーkeyの視唱、CMajor/Cminorのメロディー書き取り、コードの聴き分け(C,G,F)	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
3	10月22日	講義・演習	リズム打ち、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り(臨時記号付き)、マイナーkeyの視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
4	10月29日	講義・演習	リズム打ち、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り(臨時記号付き)、マイナーkeyの視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
5	11月12日	講義・演習	タイの付いたリズム打ち、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
6	11月19日	講義・演習	タイの付いたリズム打ち、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、CMajorのメロディーの書き取り、新曲視唱	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
7	11月26日	講義・演習	中間テスト	今までの内容を復習し次回の授業に備える
8	12月3日	講義・演習	6/8拍子・タイの付いたリズム打ち、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、ベース(F-clef)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
9	12月10日	講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、ベース(F-clef)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
10	12月17日	講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、ベース(F-clef)のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
11	1月7日	講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、メロディー書き取り、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、大譜表のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
12	1月14日	講義・演習	タイ付き・6/8拍子のリズム打ち、メロディー書き取り、コード付き(C,G,F)メロディー書き取り、大譜表のメロディー書き取り	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
13	1月21日	講義・演習	期末予備テスト	配布された授業プリントのリズム打ちや新曲視唱を復習する
14	1月28日	講義・演習	期末テスト	復習、テスト対策を行い期末テストに備える
15	2月18日	講義・演習	テスト返却、総復習	復習
準備学習 時間外学習			前回の内容のリズム打ちや視唱を復習して次回に備える	
【使用教科書・教材・参考書】				
ゼロから始める音楽理論、「ゼロから始める音楽理論 ワークブック」 喜多弘悦(著) 滋慶教育科学研究所(監修) 株式会社国際教育センターCOM音楽出版(発行) 株式会社滋慶教育事業部				



科目名	IT講座(1)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	新名佐和子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習内容	<p>社会においてIT知識、広告・宣伝は欠かせないものであり、消費者として普段からよく目にするものでもある。この科目の受講者自身には生活・ビジネスにおけるITの基礎知識を習得してもらいたい。講義では、ビジネスマナーとしてのIT知識を学び、演習を中心に、制作現場で使用頻度の高いアプリケーションを用いて習得していく。</p>						
到達目標	<p>Macを自由に扱えるようになる。 メール作成などにおけるビジネスマナーの基礎知識を身につける。 Wordの基本操作ができるようになる。(文書作成) Excelの基本操作ができるようになる。(表作成、表計算) Keynote (Powerpoint) が扱えるようになる。</p>						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	4月21日	講義・演習	PCに関する理解①、ブラウザアプリ、メール設定、メール作成練習	授業で学んだツールの復習をする
2	4月28日	講義・演習	PCに関する理解②、クラウド利用、データの保存、管理	授業で学んだツールの復習をする
3	5月12日	講義・演習	【Word】基礎技術習得① 画面表示やツールを理解するお知らせ文書作成	授業で学んだツールの復習をする
4	5月19日	講義・演習	【Word】基礎技術習得② 自由なレイアウトで自己紹介作成	授業で学んだツールの復習をする
5	6月2日	講義・演習	【Word】基礎技術習得③ 表、段落、インデント、ヘッダーフッター、印刷	授業で学んだツールの復習し、終わらなかった分を完成させる
6	6月9日	講義・演習	【Excel】基礎技術習得① 画面表示やツールを理解する表作成練習	授業で学んだツールの復習をする
7	6月16日	講義・演習	【Excel】基礎技術習得② 年間スケジュールを作成する	授業で学んだツールの復習し、終わらなかった分を完成させる
8	6月23日	講義・演習	【Excel】基礎技術習得③ 表計算を理解する 請求書を作成する	授業で学んだツールの復習し、終わらなかった分を完成させる
9	6月30日	講義・演習	【Excel】基礎技術習得④ リストの作成、グラフ作成を理解する	授業で学んだツールの復習し、終わらなかった分を完成させる
10	7月7日	講義・演習	【Keynote (Powerpoint)】基礎技術習得① 操作と仕組みを理解する	次週続きから始められるように、考えを整え素材などを準備する
11	7月14日	講義・演習	【Keynote (Powerpoint)】基礎技術習得② プレゼン資料を作成する	次週続きから始められるように、考えを整え素材などを準備する
12	7月21日	講義・演習	【Keynote (Powerpoint)】基礎技術習得② プレゼン資料を作成する 完成	授業で学んだツールの復習し、終わらなかった分を完成させる
13	8月25日	講義・演習	到達度テスト、解説	理解と技術の及ばなかった部分を復習する
14	9月8日	講義・演習	イベント実践を通してPCスキルの必要性、重要性を学ぶ	レポートを提出
15	9月22日	講義・演習	イベント実践を通してPCスキルの必要性、重要性を学ぶ	レポートを提出
準備学習 時間外学習			日頃からすべてのデータをきちんとファイリングし、丁寧に扱う練習をする	
【使用教科書・教材・参考書】				
Mac, Microsoft office, アプリケーション				

科目名	IT講座(2)	必修 選択	選択	年次	1	担当教員	新名佐和子
学科・コース	音楽テクノロジー科2年制(昼間部1)	授業 形態	講義・演習	総時間 (単位)	30 (2単位)		
教員の略歴							
授業の学習 内容	社会においてIT知識、広告・宣伝は欠かせないものであり、消費者として普段からよく目にするものでもある。 この科目の受講者自身にはビジネスにおけるIT知識、広告宣伝に使えるデザインの基礎知識を習得してもらいたい。 講義では、ビジネスマナーとしてのIT知識を学び、基礎的な広告宣伝が行えるようなデザイン技術を、演習を中心に、制作現場で使用頻度の高いアプリケーションを用いて習得していく。						
到達目標	Macを自由に扱えるようになる。 Word(文書作成)、Excel(表作成、表計算)、Keynote(Powerpoint)を複合的に扱えるようになる。 初歩的な写真加工、レイアウト、Webサイト作成アプリを扱えるようになる。						
評価方法と基準	筆記又は、実技テストによる採点						

授業計画・内容				
回数	日程	授業形態	学習内容	準備学習 時間外学習(学習課題)
1	10月6日	講義・演習	Word、Excel、Keynoteの基本操作復習。ファイル圧縮、QRコード作成方法	授業で学んだツールの復習をする
2	10月13日	講義・演習	PCでの画像補正を習得する。カラーモード、解像度、保存形式を理解する。	授業で学んだツールの復習をする
3	10月20日	講義・演習	対外的なデータ作成のルール、保存方法、送付方法などを身につける。	授業で学んだツールの復習をする。自分の過去のデータの整理をする
4	10月27日	講義・演習	Adobe illustratorの操作方法を身につける① フリーフォント、版權を理解する	商用利用可能なフリーフォントで好きなものを探し、収集する
5	11月17日	講義・演習	Adobe illustratorの操作方法を身につける② 商用利用可能な素材を理解する	商用利用可能な画像から好きなものを探し、収集する
6	11月24日	講義・演習	Adobe illustratorの操作方法を身につける③ フライヤー作成・完成	商用利用可能なベクターデータから好きなものを探し、収集する
7	12月1日	講義・演習	名刺を作成する。市販のプリント用紙に印刷する方法を身につける	授業で終わらなかった分を完成させる
8	12月8日	講義・演習	「STUDIO」でのWebサイト作成を身につける① 学んだ技術を複合的に扱う	制作に必要な資料、データの収集
9	12月15日	講義・演習	「STUDIO」でのWebサイト作成を身につける② 学んだ技術を複合的に扱う	制作に必要な資料、データの収集
10	12月22日	講義・演習	「STUDIO」でのWebサイト作成を身につける③ 学んだ技術を複合的に扱う	授業で終わらなかった分を完成させる
11	1月12日	講義・演習	身につけた技術を用い、自己プレゼン資料を作成する① (Keynote)	制作に必要な資料、データの収集
12	1月19日	講義・演習	身につけた技術を用い、自己プレゼン資料を作成する② (Keynote)	授業で終わらなかった分を完成させる
13	1月26日	講義・演習	到達度テスト、解説	理解と技術の及ばなかった部分を復習する
14	2月16日	講義・演習	イベント実践を通してPCスキルの必要性、重要性を学ぶ	レポートを提出
15	2月23日	講義・演習	イベント実践を通してPCスキルの必要性、重要性を学ぶ	レポートを提出
準備学習 時間外学習			日頃からすべてのデータをきちんとファイリングし、丁寧に扱う練習をする	
【使用教科書・教材・参考書】				
Mac,Microsoft office,Adobeアプリケーション				